


【個人】

提出 2021年7月18日

# 山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：妙高山 (2,454m)		新潟県妙高市
入山日：2021年7月15日(木) 日帰り 帰宅：7/16		
プラン担当者 正：鈴木 副：		妙高山山頂（視界ゼロ）
参加者	L：報：記：鈴木	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候：曇りのち雨		
7月15日 (木)	3：00 自宅発 桶川北本 IC 乗車 圏央道 関越道 上信越道経由 妙高高原 IC 下車 燕温泉駐車 7：30 燕温泉発-8：15 北地獄谷分岐-9：30 天狗堂-11：00 妙高山- 12：00 天狗堂-13：15 北地獄谷分岐-14：15 燕温泉下山 (行動：6h45m) 雨飾高原キャンプ場へ移動（近道の林道不通のため日本海経由）、車中泊	
荒天候時のエスケープルート：山行中止し引き返す。		
装備と食糧	共同装備：無し 共同食：無し 車提供者：鈴木	
	個人装備：ヘッドランプ、コンパス、地図、テルモス（水）、帽子、グローブ、スパッツ、ツェルト、雨具、傘、ラジオ、日焼け止め、虫除け (車ヘデボ) テント、マット、シュラフ、調理具一式、食料2食 個人食：昼食、行動食	
感想	天気予報に反し曇り空で雨が降らぬか不安。一時間ほどの急登を凌ぐと水量は少ないが高度差がある滝が現れ目を見張る。 不安が的中しぼつぼつ来たと思う間もなく土砂降りとなり慌てて雨具装着、傘も差しながら歩行する。一時間ほどで雨が上がり山頂へ到着するが全く視界はなく早々に下山する。 下山時に足のあちこちが攣り始め原因を考えたが、雨具装着で大量の発汗に見合う水分補給が足りなかったと推測し反省。 下山までの一時間は再度土砂降りに見舞われ、足元も泥だらけのつまらぬ山行となった。	